

ミュージアムパーク茨城県自然博物館
平成28年度第2回博物館協議会の開催結果概要

1 博物館協議会の概要

当館の博物館協議会は、博物館法第20条の規程に基づく法定組織であり、茨城県博物館協議会条例により設置されております。

委員は13名で、任期は2年となっております。うち1名は一般公募により選出されています。

会議は、委員長によって招集され、通常年2回開催されています。

博物館法

第20条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

2 日時

平成29年3月23日（木）14時00分～15時30分

3 場所

ミュージアムパーク茨城県自然博物館 講座室

4 出席者

飯田照代委員，石川信委員，臼井多賀子委員，関実枝子委員，染川香澄委員，田切美智雄副委員長，田上公恵委員，中川輝夫委員，水嶋英治委員長，山口武平委員

※事務局出席者

横山一己館長，小川均副館長，田崎俊一副参事兼管理課長，小幡和男副参事兼企画課長，青木賢一教育課長，久松正樹資料課長，齋木均志係長，小池涉首席学芸員，池澤広美首席学芸員，中里賢係長，沼尻耕一郎係長，松浦卓也主事，真中幸子主事

5 議事概要

(1) 議案説明 (事務局)

議題

- (1) 平成28年度後期事業の報告について
- (2) 平成29年度業計画について
- (3) 予算・決算などについて
- (4) その他

(2) 質疑・意見交換

○議題(1)～(4)について

(意見交換)

A委員：

今回初めて出席となりましたよろしくお願ひいたします。筑西市なのでここまで来るのに1時間半ほどかかります。自然に恵まれたところなので、本当は子供たちと一緒に来られればいいのですが、なかなか距離あるということで来られないというのが現状です。それなので夏休みを利用して保護者と館に来館してもらっていろいろな自然と触れ合ってもらって。いろいろな自然と触れ合ってもらって、本当に子どもたちはトンボとかも大好きだし、今やっている恐竜とかも特に大好きで、博物館からポスターが届くとワーワーと歓声があがるほどなので、保護者にいろいろと伝えていきたいと思ひます。有料の利用者数が増えることに協力していきたいと思ひます。

B委員：

質問なのですが、美術館協議会でも申し上げましたが無料の入館者が増えていますが、その増えている部分は県の方で予算措置さ出ているのでしょうか。無料でサービスされていますが、増えていくと大変なのではないかと。

事務局：

それはありません。

事務局：

幸いなことに、うちの方は有料入館者も増えていますので、その予算を使わせていただ

いている。今のところ極端に支出が増えるということにはなっていませんので、特段困っているということにはなってございません。

議長：

そういうことであれば無料入館者が増えていて、社会貢献していることをアピールしてはどうですか。

C委員：

資料1の3ページの4月は48.7%と大幅に入館者が増えている。12月は49.5%のマイナスとなっている。9ページの初めて入館された方の情報現でインターネットはどのように出しているのか。人から聞いたというのは、全く他人から聞いた情報なのか。

事務局：

4月が圧倒的に数を増やしたのは、曜日の関係もあったのかなと、曜日のまわりがよくゴールデンウィークの最後の3日間で圧倒的な数字を稼きました。昨年マンモス展は12月からずっとやっていたので、比較的早い時期にお客さんが来てくれてしまったかなと思うのですが、去年は洞窟展でこの時期が一番お客さんを集めた時期でした。4月は曜日のまわりと企画展効果がありました。暮れから2月にかけての減なのですが、1月2月は恐竜が大きかったと思うのですが、12月は県立図書館で大きな移動博物館の人数が多かった感じです。今年の15,000は12月としては頑張ったんじゃないかと思っています。減ったというよりは昨年がんばったということで、今年の数字はそう悲観したものではありません。インターネットですが、当館のホームページばかりでなくいろいろな人がSNS等で当館の宣伝を間接的にしてくれている状況があるので、うちのホームページを見たのか、SNS等ほかのホームページを見たのか、区別してアンケートを取るように、今年途中からしたのですが、2日に一度はフェイスブックで情報発信するよう心がけており、これが情報源としては功を奏していると思っている。人から聞いたなど細かくはアンケートでしておりませんので、家族からなのか他人からなのかは全くわからないのですが、口コミはいつの時代にも大事な情報源ということで、インターネットの割合が増えても、悪い評判がたたないように気をつけたいと思っております。中身については詳しくは分かりかねるということです。

D委員：

今日入ってきましたら、駐車場のよその県、柏とかの車がありまして、それからお子さん連れ、平日なのに、春休みになったのかしらと思ったのですが、とれも賑やかで、人気があるんだなと実感しました。展示に関しまして、さわれるもの、さわれないものがあると思いますが、子供たちが体感できるもの、そういう展示があるのかもしれませんが、そ

ういうようなものがあったらいいのかなという気がしました。皆さんがんばっているというと感じております。

E委員：

今年委員になりまして、なるべく博物館に足を運ばせていただいております。アンモナイトや恐竜ジオラマのオープニングセレモニーに参加させていただいたり、展示を拝見させていただいたりしました。職員の方々の熱意がこもっている提示ということで感動させていただいています。恐竜ジオラマのオープニングセレモニーの朝来たのですが、お子様連れがたくさんいて驚いた。大人も子供も恐竜に関心が高いんだなと感じました。職員の皆様の努力に関心いたしております。データを見ますと有料入館者が増えないと運営も大変だということで、今はインターネットという時代でそれが反映されているということで、電車の中吊や横断幕、そういったものがインターネットにつながっていると思います。県立の自然科学系博物館で日本一ということを強調されてもいいのかなと思います。筑波山地域ジオパークが認定されたのですが、筑波山のところを見せていただくと、貴重なものがたくさんありますので、筑波山地域ジオパーク認定というのぼりをたてると見る人が増えると思います。バスツアーの見学の中に取り入れてもらうと、有意義なバスツアーになるのではないかと思います。

事務局：

小幡課長と私が筑波山地域ジオパークの推進協議会の学術部会に参加させていただいております。昨年9月に認定されたわけですけど、認定されてすぐに、博物館のエントランスでパネル等でミニ展示をしました。その展示が終わりまして、そのパネルをディスカバリープレイスの筑波山コーナーに一時的においておりますが、茨城県には筑波山地域ジオパークと県北ジオパークと2つございますので、県の博物館としては両方を紹介していくことが必要となってくると思いますので、今後の常設展示を検討しているという状況となっております。

議長：

バス見学ツアーに取り入れてはどうかという意見についてはどうですか。

事務局：

我々の博物館は朝来られて、昼2時か2時半までじっくりと見てもらえるのが多い。どこか見られて、ここを1時間くらいで出発するとなるといい傾向でないのかなと思います。

E委員：

少しだけ体験してもらおう。ポイントを決めて、ボランティアガイドさんに説明してもら

ってはどうですか。

事務局：

バスツアーの業者さんもここが有効ということは知っているのですが、日程に組み入れているところは多い。今のところ積極的にバスツアーへの参加は考えていない。

議長：

事前に小幡課長からお聞きしたのですが、入館者は増えている。予算も1千万増えている。トイレの改修なのでフィードバックして非常にいい傾向だというのはお聞きした。なぜ、増えたかの背景説明を小幡課長からお願いいたします。

事務局：

学芸員が一生懸命取り組んでいる企画展の充実というのが、家族連れのお客を増やしている一番の要因かなと思っています。20周年も過ぎて、施設の方も老朽化がすすみ、入館者を維持していたことが、県の当局も理解してくれて、恐竜をはじめとする展示や施設の改修につながっているのです。来年度以降も館の活動を継続することによって、もう少し入館者を確保していくことが可能なかなと考えております。

議長：

企画展の影響が大きいかなと思いますし、インターネットの時代の流れかなと思います。

F委員：

恐竜の魅力はすごいと感じております。その展示を休止して4千人もの減があったということで。こんどは新たに、リニューアルされて素晴らしい恐竜に生まれ変わったのはご同慶の至りだと、さぞかし入館者が増えるのではないかと思います。最近外国人の観光客が多くなっています。バスツアーは時間の関係で無理かもしれませんが、そういう博物館好きな外国人に、直接外国にお知らせするとか観光局とか、そういう方法で、人数は少ないかもしれませんが、この自然博物館を知らしめるのは、親切ではないかと思います。DVD 専門的な作るところは決まっているのか伺いたい。はく製の受け入れは今受付られるのか伺いたい。

議長：

外国への広報、DVD、はく製のことにつきましてお願いいたします。

事務局：

外国への広報ですが、当館のホームページもイングリッシュと押すと表示されるのです

が、日本語の情報更新からすれば決まった情報しか出してなくて、情報発信が足りないと思います。今日いただいたご意見・ご助言を参考にさせていただいて、英語になると思いますが、情報発信は何らかの方法で強化していただきたいと思います。DVDの方は教育課が中心に進めておりまして、はく製の方は資料課で受け入れをしております。

事務局：

すべて外注でという予算はございませんので、一部カメラマンに撮ってもらったり、自分たちで撮ったりというものをシナリオを入れたかたちで作ったものをDVDに作成してもらう、職員と業者の共同作業ということで、できるだけ安価で分かりやすいものをつくらうということで進めております。

事務局：

資料受け入れにつきましては、基本的に受け入れたいと思います。今恐竜ホールところに、ホッキョクグマ、トラ、ライオンのはく製を展示させていただいております。館長のお知り合いが縁だったのですが、パンダのはく製も含めて御寄贈いただいたところです。1000万人の記念に併せて展示する予定でもおります。たくさん資料を寄贈いただきたいのですが、なかなか資料を収蔵するスペースがないという実情でございます。展示室に資料を展示したいという希望を委員の皆様にも知っていただいて第4展示室の改築を県にアピールしていきたいと思っていますので、委員の皆様にも知っておいていただきたいと思います。外国人の対応ですが、29年度はWi-Fiの設置を念頭に資料課で活動していきたいと思っております。その中に多言語化のシステムも組み入れますので、展示の中では考えています。

G委員：

以前収蔵庫のリニューアルを委員会の委員をしておりましたけど、たくさん資料をお持ちなので、それに見合う展示室や収蔵庫ができればいいと思います。館長さんが国立科学博物館から来られたということで、パワーポイント8ページの学術調査研究計画の策定がされていることはすばらしいと思います。特に博物館学的調査研究が大きくなっているのがうれしく思います。いろいろな自然系博物館の委員をさせてもらっているが、なかなか研究と実践と、あるいは博物館教育活動や企画展示を開発するというたくさんの仕事がかまく機能しあうのが難しい、日本の博物館だなと思っています。日本では学芸員の人数も足りないし、大学の研究員の人数も足りないので難しい。研究報告19号の117ページを見ると鶴沢さんがユケ展の利用者の研究をされている。ぜひ利用者研究の側面を含めた研究をされに積極的されたら嬉しいなと思いました。先日も恐竜のリニューアル式典で、アットホームで準備経過についても説明されてすばらしいと思いました。

事務局：

学術研究予算が少ないことから、今まで共同研究が多すぎた。将来的には少なくして、予算を集中したい。また、学術研究予算を増やしていきたいと考えています。

H委員：

私は長いこと博物館の総合調査研究に携わってきているので、そちらの方の科学的領域の方の調査研究の方の総合調査研究をこれからどうするのかというのが非常に心配なのです。なぜかという、大学そのものが、研究能力という、スタッフの力を含めて、相当厳しくなっている。その状況の中で今までのような総合調査研究が今までのように人的に可能か。お金をつけても不可能になる時代がくるのではないかということを感じている。それをどのように解消して、自然系の博物館の下支えの意味もありますので、クリアしてかということ考えなくてはならない。ひとつの提案は今茨城大学は社会連携が大学の使命となっている。総合調査研究は大学からすれば社会連携の一部なんです。そういう点では大学と連携の覚書みたいなかたちで、調査研究を共同ですつとやっている。向こうは社会貢献で名をあげられるし、博物館側としては総合調査研究の人的、資本的なバックアップも得られるということが考えられる。そのくらいのことをしないとそれぞれの大学に任せておくと、地元を研究する人がいなくなってしまうのではないかと感じをずっと持っている。

茨城大学とか筑波大学とか、自然系に関わらなければ他の分野の大学もございまして、そういうことを博物館として県を通じては考えてはどうか。人材の不足というのは、いくらお金をかけてもやる人がいないという状況におちいりかねないので、そこは深刻に考えていただきたいという考えを私は持っています。少なくとも今のところ私の後継者はいないのでこれからどうなるか。多分科博におられた横山先生もそこはご存じでしょうから。これから総合調査研究を、人を手配しながらどうやっていくかぜひ考えていただきたい。お答えをもらう必要はないのですが、ぜひご考慮願いたい。

議長：

昨日の朝NHKのラジオではじめて笠間市が福島原発のことの受け入れの広域行政的に災害協定を結んだといニュースがありました。資料が壊れた時の受け入れをこの近県の栃木、群馬、神奈川というところとぜひやって今後の対策をやってもらいたいと思います。お答えをもらう必要はありません。